

おお大勝利

平成 25 年度山東サッカー部報第 4 号 (4 月 23 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

追悼 武田前OB会長逝去

4 月 13 日 (土)、肺炎のため、山形東高 OB 会¹の第二代会長²武田栄四郎様が逝去されました (以下武田会長と略記)。享年 89 歳。1981 年 (昭和 56 年) から 1995 年 (平成 7 年) まで会長を務められ、三度全国大会に導かれました³。奥山 OB 会副会長のブログ「お爺さんは山へ芝刈りに」⁴にて、今年正月二日、和装の鈴木先生とともに二冠会 (注 2 参照) に元気に参加されているお姿を拝見していたものですから、後藤報道局長から訃報を伝え聞いた時、驚き狼狽しました。現役世代や若手 OB、およびその保護者の皆さまは、武田会長を御存じないかと思いますが、15 年もの長きにわたり会長を務められ、その間ずっと現役世代を激励し続けた、OB 会・サッカー部両方にとっての大功労者であります。

試合のたびに応援に駆け付けて下さり、「**山東は一戦一戦強くなっていく**」といつも力強く激励して下さいました。正直に申しますと、高校生時代のケツの青い私は、毎回同じメッセージにマンネリを感じなくもなかったのですが、一戦一戦力をつけていく自分たちを意識しながら県総体に臨み、県総体でも一戦一戦駆け上がる自分たちに、武田会長の言葉が現実になる様を感じたものでした。決勝戦は忘れもしない新庄工業高校グラウンド。優勝を決め、佐竹監督・鈴木部長・大沼顧問を胴上げした後、誰からともなく複数人から出た言葉は「会長は？」と会長を探す声。振り向くと、やっと気づいてくれたか (胴上げを待っていたぞ)、と言わんばかりの至近距離に迫っていた会長のお姿。**会長と強く抱き合い、高く胴上げしたことを今でもはっきりと覚えております**。宮崎インターハイにももちろん応援に駆け付けて下さり、高らかに校歌を歌い初戦高知高校戦の勝利を共に祝いもしました。会長は単に後援してくれる方というにとどまらず、**不遜なことを覚悟で申しますと、私にとって戦友**でありました。

山形東高校サッカー部顧問になってからは、直接はじっくりお話しできませんでしたが、お孫さんがサッカー部に入部し、年に一度くらいは応援に駆け付けて下さったのを大変うれしく拝見しておりました⁵。元気にお過ごしになられ、もっともっと現役生を見守っていて

¹ 正式には後援会。

² 初代は後藤報道局長のお父様、現在の清野会長は第三代会長となります。

³ 昭和 59 年度 (1984 年度) のインターハイ、全国高校サッカー選手権、平成 4 年度 (1992 年度) のインターハイの合計三回となります。59 年度は二冠を達成したことになり、現在でも二冠を達成した諸先輩方は二冠会という名の会を開いております。渡邊前顧問はその二冠会の一員です。現顧問は、佐竹監督 (現校長)、鈴木部長、大沼顧問 (前教頭) に導かれ、平成 4 年度にインターハイに出場致しました。

⁴ 山形東高サッカーOB会 HP 上にリンクが貼ってありますので、ご覧になって下さい。

⁵ 孫のダイシンは山東 59 回卒 (平成 20 年度卒)。東北大学卒業後、仙台市役所に就職いたしました。山形東サッカーOB会 HP 上の My Best Eleven にも選出されている GK でした。

ほしかったのですが、これも致し方ありません。享年 89 歳は大往生と思われま

す。武田会長の御冥福をお祈りいたします。合掌

現顧問 今野誉康 (山東 43 回卒)

Y2A 第三節、Mリーグ初戦 二連勝

4 月 20 日 (土) Y 2 A 第三節山形中央 B 戦が白鷹町東陽の里 (人工芝) にて行われました。山形中央には昨年度、その後選手権に出場することになるメンバーにボコボコにされ、14 失点して敗れた記憶が新しい。屈辱の敗戦という言葉でも足りない、2 部降格を自他ともに当然視した敗戦でありました。その後、若手 O B 達に会うたびに必ず彼らの口から出たのが、降格の話と 14 失点の話でした。ただ、あれとは相手も違うし、あの頃とは自分たちも違う。変な気負いなく、ただ目の前の勝利だけを目指して試合に臨みました。

前半、ルーズボールを拾い、山形中央サイドで試合をする理想的な展開が続く。中央 B は丁寧につなぐ意識があるが、それが逆に山東ディフェンスの網にかかり、ショートカウンターが続く展開。前半 15 分で 9 本のシュートを放ち、そのうち 1 得点を上げるも、G K との 1 対 1 などを外す。好機を逃し続けると手痛いしっぺ返しがあるのは、勝負の世界の鉄の掟。押される時間もあり、徐々に雲行きが怪しくなっていく。ハーフタイム、顧問は「後半も前半のようだと 1 - 2 で負けるよ」と選手に強く迫るも、後半も同様にダラダラした攻めだけ続き、雑なフィニッシュのオンパレード。逆襲一発からいつ同点にされるかハラハラ。終盤、F K から訳の分からない追加点を決め、結局 2 - 0 で勝利しましたが、絶対にやっては行けない試合だったと強く反省させられました。**敗戦にも胸を張ってよい試合もあれば、勝利にも猛省すべき試合がある** ものです。この試合は、まさに後者の典型でした。

翌 21 日 (日) は M リーグ第一節。この M リーグを勝ち抜かないと県総体の切符は与えられない。昨年まで Y 1 に所属していた関係で、高体連所属上位 8 チームは県総体のシード権が与えられる規定により、山東は M リーグ免除で県総体に行きましたが、今年は自分たちの力で県総体を勝ち取らなければならない。さて第一節の相手は山形学院。場所は、これまた人工芝の山形明正。20 日解散時のミーティングにてこの試合に臨む学院の気合いについて語り、あったらまずい甘い雰囲気締めたつもり。

朝、カーテンを開けると、目を疑う光景。雪が降っている。そして時間を追うごとに、パラパラではなく本降りになっていく。せつかくの人工芝にも雪が積もっている。それでもやるのがサッカー。試合が始まると、ボールをシンプルに縦に入れ、攻め続ける山東。最初のビッグチャンスも逃すも、その後次々に得点し、前半で 6 - 0。チクテツ、サチク、マサノブ、イギータ、ジミケン、ユウダイ、ヒデアキ、ケイジュ、ケーシ等、**今季これまで公式戦のピッチに立っていないか長い時間は立っていない三年生を全員投入**する後半の戦い。それでも山東の勢いは衰えず、後半も 6 得点で、1 2 - 0 で勝利。寒い中ではありましたが、大勝と三年生の生き活きた姿に顔が綻ぶ一日となりました。

来週も、M リーグ、県リーグの応援よろしくお祈りいたします。また、保護者会総会・歓迎会・激励会もよろしくお祈りいたします。

4 月 28 日 (日) M リーグ第二節 寒河江工業戦 @山形明正 G 10:00~

総会 18:00~

同日 保護者会総会・新入部員歓迎会・総体予選激励会 @メトロポリタン山形 18:30~

4 月 29 日 (月) Y 2 A 第四節 モンテ B 戦 @ベスパ第一運動広場 (クレー) 12:00~

県総合運動公園 (べにばなスポーツパーク) @天童市